

コンベアの稼働状況を把握し改善点を浮き彫りにしたい!

BEFORE

ご提案のポイント

今回は発電機を製造している会社のご依頼で、発電機の部品（鉄板）を塗装する乾燥炉内コンベアの稼働状況をデータとして正確に管理し、今後の改善や設備投資に活用していきたいとのご要望でした。

ご依頼の肝としては、コンベアの稼働状況の検証方法と、データ取得から処理までのトータルプランニングの必要性を考慮し、それに合った最適な通信機器の選定が重要なポイントとなりました。

制御盤から送られる信号を読み取る

信号をデータ変換する

データを共有する

AFTER

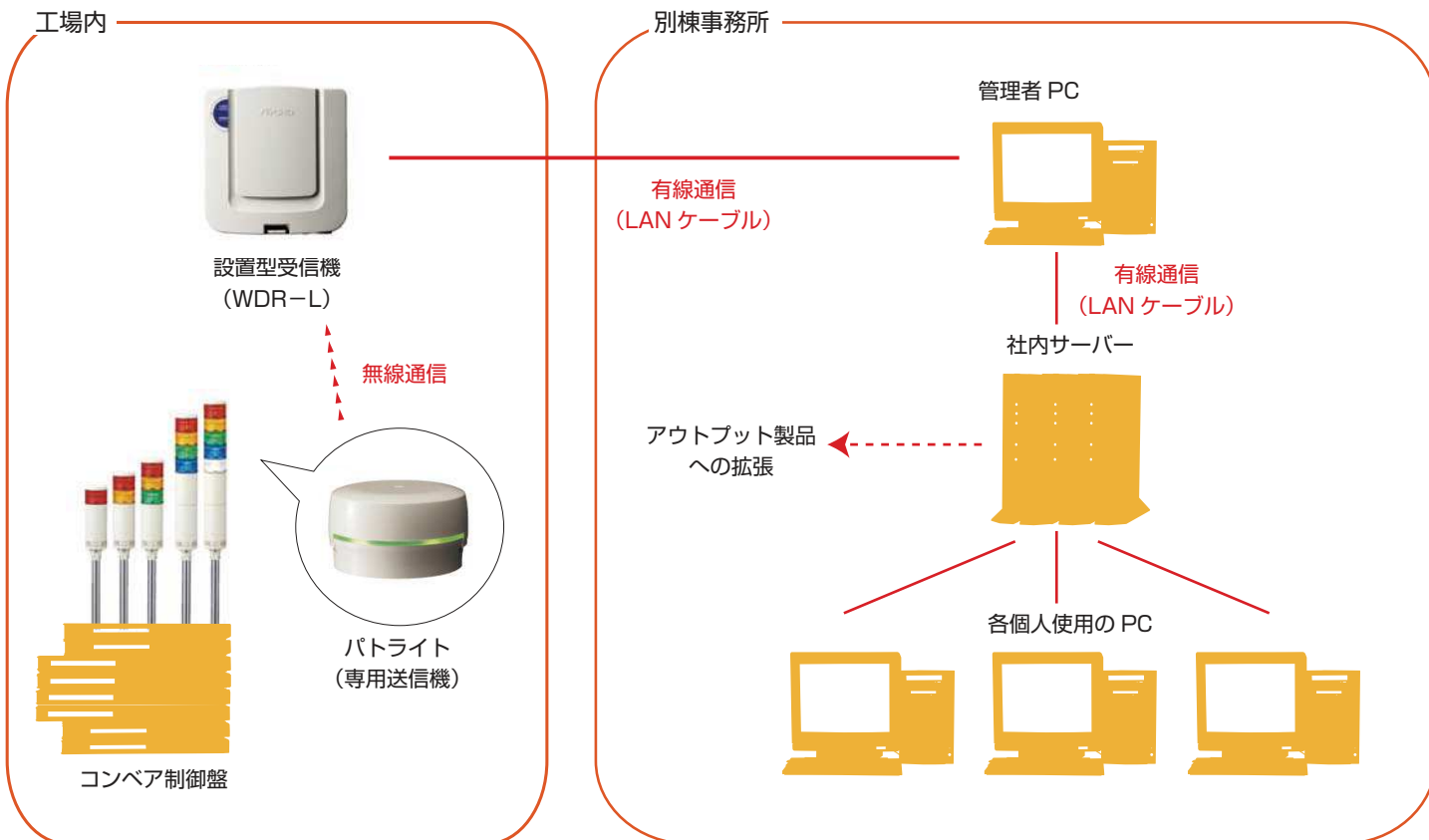
ワイヤレスデータ通信システムの導入

今回は弊社がご提案したのは「パトライト製エアグリッド」の提案を行なっております。

まず全体の流れとしては乾燥炉内コンベアの制御盤にシグナルタワー（2灯）を設置し、青が点滅している時は正常にコンベアが稼働しており、赤が点滅しているときは何かしらの異常で停止している状態という状況を作ります。

そのシグナルタワーの上に「送信機」を取付け、先程の青と赤の信号を無線で「受信機」へ情報を飛ばし、情報を受け取った受信機から有線LANを介して、別棟の事務所にある製造管理責任者のパソコンへ送り、パトライト社が提供しているアプリケーションを用いてCSV形式で吐き出し、お客様の方でグラフにしたりとお好きのように加工していただいております。

システム概要図



パトライト製エアグリッド WEB サイト: <http://www.patlite.co.jp/wd>